

わが校の

# 学習スタイル革命



積極的に学習に取り組む生徒ら

二つの特徴で  
向上力高める

湯梨浜学園の学習の特徴  
一授業レベルの高さ  
習熟度によるクラス編成  
先生との個人面談の充実  
三つがあり「ゼミ」など  
先進的学習スタイルを取り  
入れている。

授業レベルでは、週の2  
土曜講習で自己に必要な  
合格を目指すαクラス、β

日が8限で、その時間を使  
って「ゼミ」を行う。英検  
・教検など検定対策ゼミや  
今年から始まった読書・創  
作ゼミが面白い。自分の興  
味のある本を集中して読む  
時間と、小説や論文・詩な  
どの創作時間があり、既存  
の勉強だけにとらわれない  
のがレベルの高さにつな  
がっている。

習熟度によるクラスで  
は、国語・数学・英語のク  
ラスを中心に、国立大学  
合格を目指すαクラス、β

個人面談では、大学受験  
や学校生活の悩みや不安を  
軽減するため、先生が親身  
に相談にのってくれる。受  
験での面接対策は生徒にと  
つて不安要素だが、先生が  
進路指導の経験を通して適  
切なアドバイスをしてくれ  
ることで生徒は自信を持っ  
て受験に臨むことができる。

湯梨浜学園には、さまざ  
まな特徴的な学習法があ  
る。その一つが中学2年生  
と高校2年生までが取り組  
む課題研究だ。生徒全員が  
先端技術を活用して、目的  
前における現実社会の課題を  
考え、解決を図る人材とな  
ることを目指している。

これからの取り組みを通し  
て、生徒は個々の長所を伸  
ばし、全国の舞台へと挑む。  
昨年度は科学の甲子園ジュ  
ニア鳥取県大会で優勝した  
ほか、エコミクス甲子園  
県大会出場や校外文芸コン  
クール入賞などへとつなが  
った。

高校生は、アメリカカネ  
ントン大学との国際交流、  
現地の大学生とオンライン  
で交流する「チャットリン  
グ」に取り組む。コロナ禍  
においても国際的な活動は  
広がり続けている。

## 部活動にも力



ステージで踊りを披露するフラ部

### 大会進出、イベント出演 etc 活躍の場広げる

湯梨浜学園にはさまざまな  
部活動がある。運動部では中  
国大会進出者を出している水  
泳部や中国大会団体ベスト8  
のバドミントン部が県内大会  
でも好成績を収め、文化部で  
は全国大会常連校の囲碁部や  
将棋部がある。そのほか、校  
外の多くの方の協力を受けて  
精神と体を鍛える剣道部も  
活躍している。

文化系の生物部は、ヤギや  
ウサギ、モモンガだけではなく  
ハリネズミ、デグーなどの  
珍しい動物を飼育。学園  
のマスケット的存在で  
生命の大切さを知  
り、相手を思い  
やる友愛の  
気持ちを身に付けることがで  
きる。

また、さまざまなイベント  
でパフォーマンスを披露して  
いる書道部も注目を集めている。

珍しい部活として、県内唯  
一のフラ部がある。主にハワイ  
で伝統的に踊られているフラ  
ダンスを踊る部活だ。学校  
外から講師を招いてより高い  
技術を身に付けようと精進し  
ている。

夏梨祭での開催を飾った  
り、近隣のイベントに呼ばれ  
て披露したりするなど、活動  
の幅が年々広がっている。テ  
レビにも取り上げられ、今後  
ますます活躍の場を広げる部  
活動である。



湯梨浜タイムで模擬店の活動をする生徒ら

### 多彩な学校行事

## 学年の垣根を越えて

湯梨浜学園では多彩な  
学校行事が実施される。  
外部講師を招いた教育講  
演会をはじめ、湯梨浜タ  
イム、縦割りチームで取  
り組むスポーツ大会など  
がある。

保護者にも好評の「教  
育講演会」。昨年度はジ  
ヤズヒナリストであり数  
学研究者で、2025年  
に開催される大阪・関西  
一帯を並び、生徒が思い  
やることを目指している。  
主にSDGs・持続可能  
な開発目標の中からテ  
マを選び、探求していく課  
題研究は、各種専門業種へ  
の訪問、鳥取などの教育  
諸機関への外部訪問など、  
専門家への質疑応答などで  
理解を深める。

昨年度、高校1年生は地  
元の燕趙園(湯梨浜町引地  
)との協働企画で、廃棄され  
る段ボールなどを菓子作  
り「うまい棒」を組み合わせ  
て巨大な中国の旧跡名所を  
作り上げ、多くの集客を上  
げた。

最大の催し  
「夏梨祭」  
学校行事の中でも2日  
間にわたって開かれる学  
園祭「夏梨祭」は最大の  
催しだ。全校生徒が学年  
の枠を越えて絆を強め、  
協力してつくり上げる。  
クラスパフォーマンスや  
合唱、クラスアクトがあ  
り、各クラスが優勝を目  
指して競い合い、最高の  
思い出となる。

本年度は倉吉未来中心  
を会場に、感染症対策を  
徹底して一般公開も実現  
した。

同祭は、毎年好成績を  
収めている「英語弁論」  
暗唱スピーチなど生徒の  
日頃の学習成果を発表す  
る場にもなっている。夏  
梨祭の最後は、学年の垣  
根を越えて笑顔に包まれ  
る。これからの新たな感  
動を巻き起こしていきな  
い。



科学の甲子園ジュニア県大会で優秀な成績を収めた生徒ら

湯梨浜学園は、さまざま  
な特徴的な学習法があ  
る。その一つが中学2年生  
と高校2年生までが取り組  
む課題研究だ。生徒全員が  
先端技術を活用して、目的  
前における現実社会の課題を  
考え、解決を図る人材とな  
ることを目指している。



ゆるりん食堂の弁当を選ぶ生徒

湯梨浜学園は生徒の意見を積極  
的に取り入れ、学校生活において  
進化を続ける原動力としている。  
女子生徒のストラックス制服導入や  
地元食堂「ゆるりん食堂」の弁当  
販売などを、新たに導入した。  
新制服や新聞ラジオ放送の開  
始、生徒会の新活動など、新たな  
変化がどんどん取り入れられている。

取り組みや学校の制度は、生徒か  
らの提案で企画されることも多  
い。

スクールバスのルート延伸やお  
昼のパン屋さんの焼き立てパン販  
売など、生徒の毎日の「わくわく」  
と「過しやすさ」につながる変  
化はどんどん取り入れられている。

## 中学2年生が作った新聞です

### 世界が広がる 海外語学研修

毎年、中  
学3年生と  
高校2年生  
が英語圏で  
海外語学研修を  
行う。6年間で2回、海外で学習  
ができる。観光ではなく、生きた  
英語に触れ、学びの実践機会とし  
て、多くの貴重な経験を積むこと  
ができる。

特に、英語活用の最大の機会と  
してホームステイがある。各生徒  
が2~3人に分かれて数日間過す。  
現地のファミリーは、本物の  
家族のように接してくれるため、  
別れる時には涙する生徒もいるほ  
どだ。

また、オーストラリアのグレート  
バリアリーフなどの世界遺産を  
実際に見るだけでなく、海洋実習  
を通じて自然を感じながら学べる  
ことも魅力である。

岩田直樹校長は「全ての生徒が  
海外研修を通じ、英語力だけで  
なく、人間的にも成長することがで  
きた。今後、多方面での国際交流  
の架け橋となる人材に育ててくれ  
ることを期待する」と話していた。



海洋実習を体験する生徒

# 湯梨浜学園新聞

ゆりはまがくえん

### 学校概要

YURIHAMA  
GAKUEN

【校名】	湯梨浜学園中学校・高等学校	【沿革】	平成18年4月 開校。全日制課程普通科の設置
【所在地】	湯梨浜町田畑32の1		平成27年4月 通信制課程普通科の設置
【校長名】	岩田直樹		平成28年7月 校名を湯梨浜学園中学校
【生徒数】	237人(中学98人、全日制高校65人、通信制高校74人)		・高等学校に変更

### 【教育目標】

科学技術創造立国を支える人材育成、また国際社会で活躍できる人材輩出のため、理教教育、そして語学教育に力を入れている。

### 【進学先】

本校では、国立立大や私立大への進学を果たす生徒が多数いる。先輩方の進学先の一部を紹介する。

主な進学先は次の通り。

北海道大、東北大、筑波大、名古屋大(医学部)、大阪大、神戸大、九州大、金沢大、奈良女子大、鳥取大(医学部含む)、岡山大(薬学部含む)、岐阜薬科大、防衛医科大学、自治医科大学、岩手医科大、中央大、津田塾大、東京理科大学、早稲田大、北里大、獣医科(金沢医科大学)、同志社大、立命館大(薬学部含む)、大阪医科薬科大(薬学部含む)、兵庫医科大ほか。